



日本学術会議主催 学術フォーラム

巨大災害から生命と国土を護る ― 三十学会からの発信 ―

日時：平成二十四年十一月二十九日（木）午後一時から午後六時 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）

東日本大震災を受けて、巨大災害から生命と国土を護るため、30学会が集まり連続シンポジウムを開催してきました。すべての学会の代表が結集し総括フォーラムを開催します。

プログラム

13:00 挨拶・シンポジウム報告

- 司会：目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）  
 挨拶：大西 隆（日本学術会議会長、東京大学教授）  
 家 泰弘（日本学術会議会員、第三部部长、東京大学教授）  
 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

連続シンポジウム報告（第1回―第7回）：

依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

13:20 学会発表およびディスカッション

コーディネータ 米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

発表者 三十学会から会長などの代表者が4テーマに分かれて登壇  
 テーマごとに発表とディスカッションを行う

- テーマ1：想定される巨大災害と国土づくり  
 テーマ2：巨大災害に強い地域・まちづくり  
 テーマ3：巨大災害に今どう備えるか  
 テーマ4：自然災害と国土保全

17:30 全体討論

17:55 閉会挨拶 依田照彦

定員：先着 340名

問合せ先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL：03-3403-6295 FAX：03-3403-1260

お申込み：<http://jeqnet.org/sympo/no8.html>

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。



- 環境システム計測制御学会、空調調和・衛生工学会、  
 こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、  
 地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、  
 日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、  
 日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、  
 日本原子力学会、日本コンクリート工学会、  
 日本災害情報学会、日本自然災害学会、  
 日本集団災害医学会、日本森林学会、日本地震学会、  
 日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、  
 日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、  
 農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会十学協会連絡会）